



ほ におい 穂 香 タイムス ≪4月号≫

北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)はおかげさまで現在、開館15年目を迎えております。

開館から今年の3月末までに入館者数は55万人を超え、年間平均では、約4万人の方々にご利用いただいております。

新入学・新入社時期となり、当センターでも4月1日付けで人事異動がありました。鎌重館長、箭浪専門員をはじめ、4名のスタッフが加わり新体制となりました当センターに対しまして、今後とも変わらぬご支援・ご利用をお願いいたします。

北方四島交流センター（ニ・ホ・ロの最近の出来事）

「北方領土の日」ポスターを掲示しました

毎年コンテストが行われる「北方領土の日」ポスターの平成26年度版を1階ロビーにて掲示しております。

今年のイラストは第12回「北方領土の日」ポスターコンテストで最優秀賞に輝いた岐阜県の宮川菜菜美さんの作品が採用されました。



「北方領土の日」とは・・・

1981年（昭和56）1月6日に閣議了解によって決められた、「全国的に集会、講演会、研修会等の行事を行い、北方領土問題に対する国民の関心と理解を更に深め、全国的な北方領土返還運動の一層強力な推進を図る中心となる日」です。また、2月7日というのは、日本とロシアの間で初めて国境が決められた日口和親条約が締結された日を由来としています。



五月人形を展示しています！！



一階ロビーにて五月人形を飾っています。小さな子どもにはもちろん、大人や年配の方々からも人気があり、また、ロシア人の来館者の中には興味深そうに写真を撮影していた方もおり、多くの皆様に見ていただいております。



「見て知る北方領土」展示会

5月1日から5月30日まで一階ロビーで「見て知る北方領土」展示会を開催しております。この展示会では、四島交流事業や返還運動、北方四島についてをパネルやクイズでわかりやすく紹介しています。また、会場に来場できない方にもご覧いただけるよう「デジタル展示会」として北方領土対策根室地域本部北方領土対策室のホームページ上で公開しています。



お知らせ

新しい本が入りました ～『日露戦争史』～

図書資料室に新しい本を追加しました。著者は『ノモンハンの夏』『日本のいちばん長い日』などを書かれた半藤 一利(はんどう かずとし)さんです。日本が大国への道を歩むきっかけとなった日露戦争を知れば、日本がいかにか戦争をしてはいけない国かが分かるはず。という思いのもと、2年8ヶ月も費やし執筆された作品です。

一階図書資料室でご覧になれます。



休館日がなくなります

5月からは毎週月曜の休館日がなくなります。平日はもちろん土日、祝日も開館しておりますので、たくさんのご来館お待ちしております。

